

北陸新幹線 整備促進に関する決議 ~~(案)~~

東日本大震災により、太平洋側、大都市中心の国土構造のリスクが明らかになった。将来東海・東南海地震の発生が予測される中、日本海側と太平洋側が相互に支えあう2つの基幹軸を形成する必要がある。

北陸新幹線は、複軸型国土構造の核となり、国土の中心を大きくネットワークする重要な路線である。災害対応、経済成長の実現の観点から、国土政策上の重要性はさらに高まっている。整備を加速し、大阪までの完結を早期に実現すべきである。

政府は、未着工区間の優先順位付けを検討するとしているが、もはや検討の段階ではない。北陸新幹線の優位性は明らかである。早急に結論を明確にし、新規着工財源の留保分の執行等による早期着工を急ぐ必要がある。

以上のことから、次の事項の実現を強く求める。

記

- 1 まず、交通の結節点である敦賀までを早期に認可すること
- 1 敦賀以西については、国の整備方針を明確化すること
- 1 整備に必要な財源については、公共事業費、貸付料等の活用により十分確保し、まず新規着工に充当すること

以上、決議する。

平成23年7月24日

福井県北陸新幹線建設促進同盟会